

COP10 パートナーシップ事業

語ろう！東北の

生物多様性

～ 東北から ^{COP10} 世界へ ～

『自然が豊か』と言われる東北でも生物の多様性が失われつつあります。

生物多様性とはなにか。
私たちにできることはなにか。

世界の動向はもちろん、東北で行われている保全活動の紹介も交え、
シンポジウムと交流会を開催します。



パートナーシップ事業



18:00～20:00

◆講演

「生物多様性・COP10について」

島野智之氏（宮城教育大学環境教育実践研究センター准教授）

「東北の生物多様性」

岩淵成紀氏（NPO 法人 田んぼ理事長）

◆COP10 白鳥地区会場ブース出展者による活動紹介

秋田県秋田地域振興局

仙台広域圏 RCE（NPO 法人 水守の郷・セヶ宿）

20:00～21:00

◆交流会（自由参加）

講師も参加者も交えての自由な交流の場です。

マイカップ・タンブラーをご持参ください。



参加
無料

要申し込み

9/27 (月)

18:00～20:00

会場 東北環境パートナーシップオフィス
（仙台市青葉区本町 2-5-1 江陽グランドホテル裏オークビル5F）

定員 30名（申し込み先着順）

主催 東北環境パートナーシップオフィス（EPO 東北）

協力：宮城教育大学環境教育実践研究センター、NPO 法人田んぼ、秋田県秋田地域振興局、NPO 法人水守の郷・セヶ宿

◆◆◆ 語ろう！東北の生物多様性 ◆◆◆

プログラム

司会／冬木勝仁氏（東北大学大学院農学研究所准教授）

- 18:00 開会
- =講演=
18:05 「生物多様性・COP10について」
島野智之氏（宮城教育大学環境教育実践研究センター准教授）
- 18:25 「東北の生物多様性」
岩淵成紀氏（NPO 法人 田んぼ理事長）
- 19:10 質疑応答
- = COP10 ブース出展者による事例紹介 =
- 19:20 秋田県秋田地域振興局
- 19:40 仙台広域圏 RCE（NPO 法人 水守の郷・セケ宿）
- =交流会（自由参加）=
20:00 出演者の皆様との交流会を行います。

*マイカップ・タンブラーをご持参ください。

出演者プロフィール

冬木勝仁氏

（東北大学大学院農学研究所准教授）
京都大学大学院経済学研究科修士課程経済政策学専攻 修了
財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）理事
【研究分野】農業市場学：主として日本における米流通・市場に関する研究、アグリビジネス論：主としてアメリカ・日本・アジアにおける多国籍アグリビジネスに関する研究、農業政策学：主としてアメリカ・日本における農業・食糧政策に関する研究、農業経済学：主として日本における地域農業に関する研究 など

島野智之氏

（宮城教育大学環境教育実践研究センター准教授）
名古屋大学大学院農学研究科 博士課程前期 修了
1997（平成9）年3月 横浜国立大学大学院工学研究科 博士課程後期 計画建設学専攻（環境科学研究所・生態学）単位取得満期退学
【受賞】
2009年6月 プロスパーネット[国連大学]/スコーパス[エルゼビア社] 持続可能な開発に関する若手研究者賞 農業および自然資源分野 など

岩淵成紀氏

（NPO 法人 田んぼ 理事長）
宮城教育大学教育学部卒業、仙台市内の小・中学校教諭を経て、兵庫教育大学生物学科修士課程修了。
仙台市科学館学芸員、宮城教育大学客員教官などを経て宮城県立田尻高校教諭。
2006年退職後、NPO 法人田んぼを立ち上げ住まいを仙台から田尻に移す。みやぎ生協も参加している田尻「田んぼの生き物調査プロジェクト」の調査指導を行っている。

秋田県秋田地域振興局

〒010-0951 秋田市山王4丁目1番2号
TEL 018-860-3313 FAX 018-860-3860
「環八郎湖 WEBTV あきた」で活動を動画で紹介
八郎湖の自然再生に向け、平成16年度から振興局内に各部横断的なプロジェクトチームを立ち上げ、「環八郎湖・水の郷創出プロジェクト」のもと、地域住民が行う自然再生活動への支援、八郎湖周辺の小学生に対する出前授業の実施及び各関係団体・機関のネットワーク化のための支援を行っている。

仙台広域圏 RCE(NPO 法人 水守の郷・セケ宿)

〒989-0532 宮城県刈田郡セケ宿町根浜 26 番地 1
TEL/FAX 0224-37-2171 E-mail: mmmnet7@yahoo.co.jp
HP: <http://www.mizumori7.org/>
理事長：海談節生
大自然と文化の共生する町セケ宿から持続可能な未来づくりを発信していく NPO です。
1. 水環境を守ります。2. 木を見て森を見る学びの場を作ります。
3. 地域の食材を生かします。4. 水守の郷の仲間作りをします。

COP10

第10回生物多様性条約締約国会議

Conference Of the Parties——通称「COP10」。
国際条約を結んだ国が2年ごとに集まり、生物多様性の保全を目的としたルールを決める国際会議です。第10回目となる会議が2010年10月に愛知・名古屋で開催されます。

生物多様性交流フェア（生物多様性条約第10回締約国会議併催屋外展示会）
COP10に併せて開催する、生物多様性をテーマとした国際的な発表・交流展示会です。
COP10会場に隣接する白鳥地区を舞台に、国内外の政府や自治体、国際機関、NGO/NPO、学術機関、企業などの様々な出展者が、生物多様性に関するプロジェクトやコンセプト、課題やアイデアをブース展示で発表します。

東北からは
10/23～25：NPO 法人はちろうプロジェクト
10/27～29：仙台広域圏 RCE（NPO 法人 水守の郷・セケ宿）
の2団体がブース出展を行い、それぞれの活動のPRを行います。

東北環境パートナーシップオフィス（EPO 東北）

- Office 〒980-0014 仙台市青葉区本町 2-5-1 オークビル 5F
- TEL 022-290-7179
- FAX 022-290-7181
- E-mail info@epo-tohoku.jp
- URL <http://www.epo-tohoku.jp/>

団体紹介



東北環境パートナーシップオフィス（EPO 東北）
Environmental Partnership Office TOHOKU

EPO 東北は、東北地域の環境活動を促進するために、人と人をつなぐ拠点となることを目的として2006年に開設されました。2010年4月から環境省と財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）が協働して運営しています。

たくさんの方がEPO 東北をきっかけにして出会い、新たな環境活動の環が広がるよう、皆さんのパートナーシップ作りを支援します。

Access

- ♪ 地下鉄広瀬通駅下車、「西1」出口より徒歩1分
- ♪ JR 仙台駅より徒歩15分

